



## かえでゆうびん 3月号

2021年3月1日  
社会福祉法人 清松学園  
幼保連携型認定こども園 かえで保育園  
園長 引地 美津代

2020年度の最終月となりました。今年度は何とか通常保育に戻しながらも様々な制約の下の生活になりました。以前のように保護者の方と園庭や室内の様子を見て頂きながらゆっくりと日々の様子をお伝えする事のできないまま、課題を残しながら4月を迎えることになりそうです。玄関先で保護者の方々とのお話もバタバタと慌ただしくお送りする事は大変心苦しい日々でした。様々な課題もありますが、ご協力いただきありがとうございます。ですが、このまま感染症発症が減少していけば、3月後半には少人数に絞って、園庭や室内にも入っていただく時間も作ろうと考えています。

さて、そんな中ですが子どもたちの様子は絶好調です！つくづく子どもたちの発想ややる気には驚かされます。よちよち歩きだっためばえさんも園庭で泥んこをはじめ、一本下駄も挑戦するようになりました。

ふたば組の子どもたちは、テラスやお部屋でストロー先端にひものついたものを音楽に合わせてくるくるまわして「エルサーワしてるの～」と年長さんの演技を見て真似っこができるようになりました。そして、以前は幼児の部屋に先生と恐る恐る入っていたつぼみさんも今では普通に幼児の中に混ざって遊んでいます。

また、先日、いぶきのたこ焼き屋さんが開店しました。買い物もソース付けも「た・こ・や・き・体」の皆で進めました。チーズとキャベツ・ウインナーのたこ焼きはなかなかの味でした。

ひかり・いぶきはかえで相撲部屋から春場所が開催されそうです。凶鑑や写真で取り組みの仕方や言い回しを研究中です。だいちが3月6日に向けて自分が「やりたいこと」「やれたこと」をご披露するために制作したり、音楽の練習中です。

こうして昨年の4月、コロナの押しつぶされそうな毎日でしたが、子どもたちのパワーで保育が再開した7月から9か月ほどでしっかりと「かえでらしい生活」に戻してくれました。

ただ、毎年ですが、だいちがやりたいことが山ほど見つけ「時間がない！！」と残された日々をどう過ごしていくか。何が出来るか、毎日考えているようです。最近は事務所に「この前、天気が悪くて行けなかった芦屋の公園はいつにいく？」「甲山は？」「お前浜もいきたいし…」と毎日のように尋ねに来られます。

かえでの保育形態は、子どもたちの思うことややりたいことを導いていく保育は子どもの思いや葛藤、そしてできたときの喜びを共に感じたり、援助していくことで保育者も育っていきます。

先生たちとワクワク進めていく出来事を見守りながら毎年、この時期は事務仕事も満載で、一日24時間が足りないくらいです。

大変寂しいですが、卒園の準備もすすめながら、並行してうれしい新入園児を迎える準備も行い、気持ちが沈んだりわくわくしたり複雑な心境で過ごしています。

嬉しい出会いがあれば寂しい別れもある。・保育園生活はその繰り返しですが、子どもたちが起こしてくれる一つ一つの出来事に丁寧に向き合い、ともに考えたり悩んだりするこの瞬間が私の生きる力につながっていることを感じています。

たのしい時間を過ごしている子どもたちですが、登園時は保護者の方と離れて過ごす園生活の朝の始まりがあります。それぞれの子どもたちが自分で「やる気のスイッチ」を入れます。時にはドキドキしたり、悲しくてなかなかスイッチが押せないお子さまもいますが、先生に手をつないでもらったり、抱きしめてもらったり、友達を見つけて駆け寄っていったり・子どもたちはそれぞれ違ったタイミングでスイッチが入ります。

自分の思ったことを言葉で話せる子どもは意思疎通がスムーズだと思われそうですが、内面はドキドキです。表現が苦手な子はじっと見つめたり、黙って座ったり人の心の動きをよく見えています。そしてこの瞬間・・と思ったときゅっと手を握ったり体を摺り寄せてきたりします。その瞬間を保育者は見逃さず心にも体にも「キュ～！！」をします。そうして一日のスイッチを入れて小さい集団生活に馴染んでいけます。

そんな子どもたちの毎日の様子を今後もしっかりサポートしてお伝えしていきたいと思えます。

環境が変わっていくこの時期、一日が終わりお迎えに来られた時、どうぞお子さまを「ぎゅっ」としてあげてください。きっと心が楽になると思えます。

感染症の広がりが一日も早く収まり今までの生活に戻ることを期待しながら新しい春を迎えます。

まだまだ、寒暖の差もありますが、日差しはやわらかく春がそこまで来ています。

今年は手洗い・マスクの着用の効果もあり、園全体、元気に過ごすことができました。

まだまだ不便な生活は続きますが、感染症対策に対しての意識を絶やすことなく保育を進めていきます。

2月にだいちぐみの子どもたちが話し合い「何をするか？どのような行程で行くか？」を決めた園外保育に出かけました。自分たちでセレクトし、男の子7人は「須磨水族園」、女の子8人は「神戸動物王国」に行くことになりました。時間や行程も決まったところに招待されたような形で引率しました。今回のように子どもたちだけで、念入りに下調べをし実行できた園外保育は初めての経験でしたがそれぞれに思いが詰まった一日でした。「須磨水族館」では、ついてしばらくするとAくんは「最初にイルカショーの場所取りに行こう」という提案。「なぜ？」と聞くと「イルカショーはもうすぐ終わるから人がいっぱいになるとあかんから、先に席を取りに行こう」と事前に調べた情報を教えてくれ、Bくんはイルカショーが始まった途端「もっと前に行ってみよう」と、イルカショーの水しぶきがかかる場所に行く準備を自ら始め、リュックの中のレインコートを着て、すたすたと前方に移動してしまいました。時折「一人で大丈夫かな？」と振り返ることもありましたが、イルカショーの後、トレーナーの方の傍まで行き、用意していた質問をしたところ一つずつ丁寧に答えて、Bくんのやってみたかったことが叶った瞬間でした。また「先生次はどこ？」と聞かれましたが、黙って見ていると「あー次はこっちやったー」と思い出したように計画表を見ながら案内をしてくれる子もいました。昼食は皆の大好きな海岸でゆっくり済ませました。帰りは予定していた「須磨海浜公園」より「須磨駅」までの一駅分、海岸沿いを歩いてみました。「なんか大冒険みたいー」と大はしゃぎでした。

今回の園外保育はだいちぐみみんなで考え、計画し実行できたことで「やってみること」と「考えてみることを実感できた1日でした。子どもたちの思いを受けとめ保育につなげていくと共に、3月も一つ一つの出来事を大切に「一つ大きくなる」ことを共に喜びながら過ごしていきたいと思います。

主幹保育教諭 藤森寿美

桜の蕾が春の訪れを今か今かと待ちわびているように感じます。暖かい日が続くと、少しずつ花開き始める蕾も見られるようになりましたね。

さて、今回は別れと出会いの春を前にした2月のかえで保育園の様子をお伝えします。

卒園に向かうだいちさんは、これまで育ててきたことを皆で喜べるような機会を考え、計画を進めています。

また、進級する子どもたちが、どのようにすれば安心感と期待を持ち次のクラスへ向かえるのか、

一人ひとりの様子を職員間で伝え合ったり、案を出し合いながら環境を考えているところです。

そして4月から入園されるお子さまともお会いすることが出来ました。だいちさんには「めばえさんよりも小さな赤ちゃんがきてくれるよ」と伝えると、「4月？わたしたちはもう小学校にいるなあ」と一緒に過ごせないことを少し残念そうにしていました。

普段は園庭で元気いっぱいあそぶことが大好きなAくんも、新入園児さんのことが気になりなかなか園庭に出られずにいました。顔をじーっと見つめて一言。「かわいいなあ…」自然と頬が緩み、ついたての狭い隙間から指を出してどうにか喜んでもらえないかと試していました。そのAくんの姿が何とも愛おしくてたまりません。

桜の開花が子どもたちの姿にも重なり、春の訪れが楽しみなような寂しいような…。

新たな環境にドキドキや心配もあるかと思いますが。皆さんの想いが溢れる春の季節、安心して一步踏み出せるよう、少しでもお手伝いできれば嬉しいです。

副主幹保育教諭 河本彩奈

## ～めばえぐみ～

ねらい：「見守ってもらいながら自分でやってみる」「友達との関わりを楽しむ」

うた：「ちゅーりっぷ」「はるがきた」「おはながわらった」「オヤコビネムレ」

毎朝牛乳の後はお集まりで絵本を読み、名前を呼んでから1日がスタートします。始めた時は全ての友達の名前に返事をしたり、自分の名前も“ん？”と不思議そうな顔をしていた子どもたち。最近では自分の名前で元気よく「はいっ！」と手を挙げ、お友達が返事をすると上手～！と拍手で応援してくれます。「OOちゃん！」「どうぞ」と子どもたちでのコミュニケーションも出てきており、これからどんなやり取りが増えていくのか楽しみです。

### 「かわいい子鬼さん」

2月の節分に向けて、めばえ組では鬼のツノの被り物を製作しました。ツノの部分は、子どもたちが自分でシールを貼って模様にししました。初めてのシール貼りでは、手にくっ付いてあれ？と首をかしげている子や、次々に貼りたくて「ちょーだい！」とはっきり言えるようになった子、こっちな？と裏表を確認しながら慎重に貼っていく子など様々な姿が見られました。これからも、指先の細やかな動きも遊びの中に取り組んでいきたいと思ひます。



出来上がった鬼のツノに最初は嫌がる子が多かったのですが、「かわいい！」と沢山褒めてもらい、次第に短時間なら喜んでつけてくれる様になりました。



中にはツノを「遊んでいる最中もずっとつけたい！」「おに、おに！」と頭をポンポンしながら着けて！と教えてくれる子も。かわいい子鬼ちゃんがいっぱいで子どもたちにとって怖いだけでなく、かわいく楽しい節分となりました。

### 「いえい、いえい、いえい♪」

体操が大好きで、お部屋や毎週木曜日幼児さんの体操の音楽に合わせて一緒になって踊って楽しんでいます。最近では「ますかっ」との体操が人気で「ばん！ばん！」「いえい、いえい、いえい♪」の掛け声もばっちりです。指はL字に、片足を上げて、ジャンプ！ジャンプ！バランスをしっかりととり、転ぶこともなくノリノリで踊っています。この音楽のこの部分はこんな振り付け！と覚えており、保育者よりも早く次の振りが出来る程踊りこんでいます。

これまでバランス玩具や階段・築山の坂道に全身で取り組んできたこともあり、片足立ちや両足ジャンプ、屈伸も出来るようになっていきます。お家でもぜひミュージックを流して素敵なダンスを楽しんでみてください。

### “担任の思い”

いよいよめばえ組で過ごす最後の月となりました。新型コロナウイルスの影響により、2ヶ月遅れで始まっためばえ組。保護者の方も、これからどうなっていくのだろう…と不安に感じながらのスタートだったかと思ひます。この1年で歩けるようになり、走れるようになり、食べられるようになり、話せるようになり、めまぐるしく成長しました。泣きながらの登園がいつの間にか笑顔に変わり、子どもたちが見せてくれる“楽しくて堪らない！”という笑顔に私たちも力をもらいました。そんな子どもたちももうすぐふたば組のお兄さん・お姉さんです。みんなで成長を見守ってきたチューリップと一緒に大きく素敵な花を咲かせて欲しいです。 立田 瑛怜菜・宝田 聖美・柴原 ちはる

## ～ふたばぐみ～

ねらい：「絵の具を楽しむ」「音楽に合わせて身体をたくさん動かそう」

う た：「はるがきた」「どんな色が好き」「グーチョコキパー」

ふたば組で過ごすのもあと 1 ヶ月となりました。生活ではトイレに自分で座ってできるようになり、パンツに移行した友だちも増えてきました。今では自分で「うんちでたよ～」などおむつやパンツに出ると教えてくれます。食事では苦手な野菜を一口も食べることを嫌がっていました。ですが今では一口頑張ってみようと口に入れて挑戦する子どもや苦手な食べ物を完食できるようになった友だちも増えてきました。この 1 年を通して自分たちで色々なことができるようになり、お兄ちゃん、お姉ちゃんになってこれたと日々感じます。

### 「どんな模様ができるかな」



今回は風船と絵の具を使って遊びました。好きな絵の具の色を「何色にする」と言うと「ピンク!」「あお!」「あか!」と子ども達一人ひとりが好きな色を選んでいきます。そのあと保育者が風船を膨らますと「うわ～!すごい」「膨らんだ!」と喜び、「何するの～」とわくわくな子ども達。風船に選んだ絵の具をつけて画用紙につけてみると模様がつきます。それを見て「みてみて～!」と嬉しそう

に何度も画用紙に風船を「ペタペタ」していくと一人ひとり違ったかわいい模様がたくさんできました。色のついた画用紙はこれで完成ですがまだまだ違う物に変化します。何に変化するのかはひなまつりの日にご披露しますので楽しみにしてください。

### 「憧れのエルサーワ」

「エルサーワ」に興味をもっています。「エルサーワ」とはだいちのお姉ちゃんたちがしている曲に合わせてリボンのスティックを動かしながら踊ることです。その姿を見てふたばさんも踊りたいと言い、リボンを作ってもらおうと嬉しそうに身体を動かして踊りを楽しんでいました。始めはリボンをくるくる回すのが難しく友達とリボンの紐が絡まり、うまくできず「え、なんで?」と不思議そうな顔をしていたので、「少し友達と少し離れて踊ってみたら」と距離を少し開けて踊ると自分たちが好きな動きでできることに気づき、曲に合わせて好きな振り付けをして楽しそうに身体を動かしていました。声掛けも「エルサーワ! GO!」としゃがんで始まりの合図もばっちりです!「幼児さんになったらする?」と聞くと「エルサーワするの～」と嬉しそうに教えてくれました。だいちさんは女の子ですがふたばさんは男の子がやる気にあふれているので男の子のエルサーワが仲間入りするかと思うと今から楽しみです。



### “担任の思い”

この一年間を通して言葉もたくさん増えてきて、絵本にのっている動物を見ると「ペンギンさん、パパとママとみたの」と家族でお出かけをしたことを楽しそうに教えてくれます。その会話となりで聞いた友だちも「〇〇もパパとママの好きなの」など言葉のやりとりがたくさん増えてきました。友だちと遊んでいる中でも楽しそうに話笑っている姿を見るとほっこりした気持ちになります。これからどんどん言葉が増えていろいろな会話ができることが楽しみです。

## ～つぼみぐみ～

ねらい：「幼児への憧れをもつ・身の回りのことを自分でやってみようとする」

うた：「かえて保育園園歌」「はるがきた」

友達と一緒に遊ぶ事に楽しさを感じている子どもたち。誰かが楽しそうな遊びをしていると「いれて！」「いっしょにやりたい！」と次々と輪が広がっていきます。つぼみ組での生活の中で、自分の思いを言葉で伝えることを大切にしてきました。思い通りにいかないこと、友だちに腹が立ってしまうこと、日常の中で様々な葛藤がありますが泣いたり怒ったり、手が出てしまったり…そんな子どもたちが今では、「ごめんね」「じゅんばんね」など自分たちで話し合って遊びを展開しています。心も身体も大きくなった子どもたちとの残り 1 ヶ月も思い切り楽しい日々を過ごしていきたいです。

### “お出かけ日和”

寒さも和らいできた頃、みんなで東三公園まで散歩に出かけました。久しぶりの散歩でしたが、朝から大喜びの子どもたちで園庭に出るとさっそく友だちと手を繋いで準備万端な様子でした。道中も「て、つなぐんだよ！」「まえのおともだちに、ついていかなきゃ！」と子どもたちの中でルールや歩き方を考えて向かう様子に大きな成長を感じました。そして横断歩道では手を真っ直ぐ上にあげ少し急ぎ足で・・・。

とても可愛い子どもたちでした。公園に到着すると全員で「むっくりくまさん」を楽しみました。くまさん役も逃げる子どもたちも全力で走り、広い公園内にはみんなの元気いっばいな声が響き渡って



ました。その後も体操をしたり鬼ごっこをしたり体いっぱい動かして遊んだ子どもたち。寝転がった空には一面の青空で思わず「すご～い！」と感動するほど！園庭では見れない景色、そして広々とした空間を大満喫しました。

そして後日にはひかり組と一緒に西宮神社へも出かけました。ペアのお兄さんお姉さんに手を繋いでもらい楽しく散歩に出かける事が出来ました。これからもどんな場所にでかけようか、楽しみです。

### “自分だけのキラキラ”

室内遊びを少し見直し、2月より新しく「プリズモ」という玩具を出しました。六角形のケースの中に小さなピースを埋めていくのですが、提供した日から子どもたちはすぐに夢中になって楽しみだしていました。小さなピースを全て埋めていくのは大人でも集中力がいるのですが、子どもたちは真剣な顔で最後まで完成させています。はじめの頃はケースに埋めていくことを楽しんでいましたが、最近では色の組み合わせや形を見立てて作っています。自分の好きな色だったり、何かに見立てた色合いだったりピースの箱から目的の色を取り出す子どもたちはわくわくでいっばいな表情です。そして完成したプリズモは太陽がよく差し込む窓辺に飾る事も、子どもたちのお決まりです。「みて～、きらきらしてる！」「このいろきれいでしょ！？」と太陽の光を浴びたプリズモを囲みながらの、子どもたちのお話も大盛り上がりです。



### “担任の思い”

毎朝朝の集いの中で子どもたちの名前を呼び、そして最後に「今日のお休みのお友だちは？」と子どもたちに投げかけています。始めた頃は「しらなーい」や「いなーい！」といった返事が多かったのですが、最近は、周りをきょろきょろと見渡しお友達の顔をしっかりと確認すると「〇〇ちゃんおやすみ！」と欠席の友だちの名前を伝えてくれることが習慣となってきました。子どもたちの中で 16 人揃ってのつぼみ組という意識が芽生えてきているようで嬉しく感じます。もうすぐ、憧れの幼児さん！幼児になっても 16 人が大切な仲間であり、困った時に助け合える、そんな存在であってほしいと思います。

今井奈沙・小坂橋円香・尾崎美緒

## ～はま・かぜ1～

ねらい：「大きくなったことを喜び、大きくなることを楽しみにする」

うた：「がんがん」「ふるさと」「おおきくなるってことは」

いよいよ今年度最後の1か月が始まります。4月の頃はいぶき組の子ども達も少しドキドキしている様子が見られましたが、今では幼児の部屋で過ごす事にも慣れ、困ったことが起きても、周りのお兄さん、お姉さんや、先生に助けを求める事が出来るようになりました。

ひかり組の子ども達もこの1年で経験したことを自信に変えて、やってみたいことにどんどん挑戦する姿が見られるようになりました。ひとつ大きくなることを楽しみにする気持ちを大切にしながらも、「こんなに大きくなったよね。」と、この1年の成長を一緒に喜びたいです。



### “みんなでおどると たのしいね”

「音楽ながして！」の子ども達の一言で、園庭はダンス会場に変身します。体育あそびでしている「マスカット」という体操が大好きな子どもたちは、音楽が流れると、みんな楽しそうに踊りだします。

寒くて外に出るのが嫌だなあ、と話す子ども達も音楽が聞こえてくると嬉しそうに園庭にかけていきます。

最近ではマスカット以外の音楽も流すのですが、それぞれが身体全体を使って自由に表現して楽しんでいます。「だれが振り付けしたの?!」と

思うほど、自分たちで考えたダンスをノリノリで踊る姿はとてもかわいらしいです。

また、だいち組がしているリボン体操の“エルサーワ”への憧れを抱いているいぶき・ひかり組は、自分たちで、だいち組のようにリボンを作って踊っています。めばえ組・ふたば組に向けてダンスを披露する姿はなんだか誇らしげです。これからも自分で考えたことを自由に表現する楽しさを感じてほしいです。



### “かえで相撲 結果発表”

前回の本場所の結果発表が行われました。星取表を見ながら、白丸が多かった人から順に、横綱、大関、関脇、小結と発表されました。周りの友達に拍手され、なんだか恥ずかしいような、嬉しいような様子だった子ども達ですが、また3月に春場所をするという行司さんの一言を聞いて、またすぐに練習に取り組んでいました。

そんなある日、練習を一生懸命取り組んでいる子どもたちに素敵なプレゼントが届きました。大きなマットの土俵で「これで雨の日でもお部屋でお相撲できるね！」と大喜びだった子どもたち。

いぶき組の子どももはりきって練習していますが、「みあって～みあって～はっくしょん！のこった！」と声を掛け合う姿を見ては、ひかり組の先輩たちが、「ちょっと違うなあ…」と笑いながら教えてくれています。

春場所を目指して、みんなで一生懸命がんばります！



### “担任の思い”

集団で過ごすなかで、子どもたちにまで制限のあることがいくつもありましたが、そのなかでもワクワクすることを見つけて、楽しむことができる子ども達を見て、できないことよりも、できることに目を向け、何事もおもしろがってチャレンジする大切さを感じた1年でした。心も体も大きく成長していく、今の大切な時期に、子どもたちの興味・関心から、出来る限りのことをサポートし、様々なことに挑戦していくことができるよう今後も見守ってまいります。

林 奈津美

## ～はま・かぜ2～

### “たきやき屋さん”

ままごとコーナーでは、先月開店したたこやき屋さんですが…「看板がないから、お客さんが分からないんじゃない？」と話していました。そこで、いぶき組の子どもたちの中で看板を作りたいという意見が出てきました。実際にマックスバリューのたこ焼き屋さんを訪れ、看板やたこ焼きの作り方を数人で見に行くことに！鉄板や、ソースなどの材料を知りながら作っている様子をじっくりと見てきました。帰ってからは、張り切って看板作りに



取り組み「たこやきってかく～?」「たこの絵をかきたい！」と自分の思いや意見を互いに伝え合い、保育園でたこ焼きをするためには、どんなものが必要か道具や材料などいる物を話し合いました。「お家でチーズ入ってるよ」「ウイナーも入れたい！」とどんな具材を入れて作ろうかワクワクしていました。「はやくしたいな～」「たこやきたべたい！」と楽しみにみんなで計画しました。当日は、マックスバリューまでお買い物にいき、子どもたちのリクエストでキャベツとチーズとソーセージを入れました。みんなで焼いた後、ソースをつける子、レジをする子で役割をしながらお店屋さんを楽しみ、みんなで美味しくいただきました！みんなの思いがこもったたこやきでした。また、役割を交代しながら次も進めていきます。



### “一緒に合わすと楽しいね”

楽器コーナーでは、ベルやピアノなどいろいろな楽器の音が毎日響いています。いぶきさんは、だいちゃんやひかりさんが演奏している姿に憧れを抱き、様々な楽器に興味を持っています。ペットボトルでマラカスを作ったり、音階のある楽器に触れては「ここはなんの音かな？」と顔を見合わせ友達と話す姿や「先生、みててね！」と音を楽しんでいました。

ひかりさんは「ふるさと」の楽譜をみて、グロッケンやベルなどで演奏をしています。「もうっかい！」と繰り返し演奏を続けながら、友達と一緒に音を合わせる楽しさを感じているようです。

友達が演奏している様子を見ると、他の子どもも自然と傍にやってきて、一緒に歌ったり、リズムに合わせてながらカホンや小太鼓などで演奏を楽しむ子もいます。真剣な眼差しで何度も友達と音を合わせようと、

「いっせ～の～で」と息を合わせ、「いける?」「うん!」と声を掛け合いながら、互いの様子を気にしては「うんうん、あってる」と認め合う姿に楽しみながら、息の合うひかりさんでした。



### “担任の思い”

4月から始まり、生活の中でいろいろ変わってしまうこともありましたが、友達と一緒に嬉しいことや面白いこと、困っている時には助け合い、共に考えながら過ごしてきました。みんなとなかなか会えないときに友達と過ごす時間が愛おしいと感じたり、一緒にいることを心地よいと感じる瞬間がたくさんみられました。自分の気持ちを伝えることから互いの思いに気づき、話し合いの中で葛藤することも経験しながら大きくなりました。相撲やたこやき屋さん、友達と合奏することなど、やってみたいことや自分で挑戦しようとする時間を大切に、もっと深めていけるよう見守ってまいります。

## ～だいちぐみ～

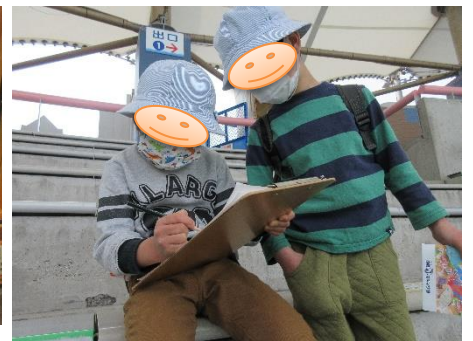
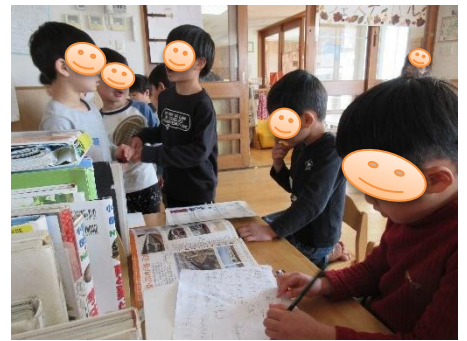
ねらい：「周りへ感謝の気持ちを言葉で伝える」

う た：「1ねんせいマーチ」「さよならぼくたちの保育園」「にじ」

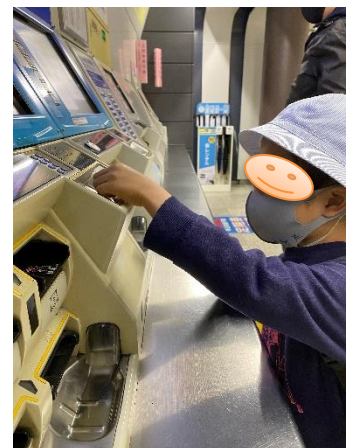
節分、おもちつきに、雪あそび等この季節ならではの遊びを思う存分楽しんだ2月でした。今年は気温が暖かい日もあり「外でご飯食べたい」と園庭に机を並べてご飯を食べたり「このまま連絡帳書きたい」とお日様の暖かい光を浴びながら書くと「なんだかいい感じだよ、この雰囲気」「今度はおにぎりつくってピクニックしよう」と“やってみたい”ことがまだまだたくさんあるようです。だいち組の役割として行ってきた、食後の片付けや生き物のお世話。今では「机拭いといたよ」「もりぴーいっちゃんしてくるね」とみんなで声を掛けあいながら自分の役割を見つけています。「今度はひかりさんに教えてあげないとね」と気づき、自分達がしていた当番のことを振り返っているところです。小学校への期待を膨らませながら、身近な人へ“ありがとう”を伝えてこれからは繋がる1ヶ月にしていきたいと思えます。

“あ～楽しかったな”

「次はみんなでどこに行く？」  
「今度は水族館行きたい」「どうぶつ王国もまた行きたいよ」と子ども達で次のお出かけ先を計画していました。これまでお出かけ先を決める時は自然とみんな同じ場所になっていました。自分が行ってみたい場所でやってみたいことを考えてみるのも面白いよねとグループに分かれての計画が始まりました。始めはどうやって行く？バス？電車？お金はどうするの？と何から決めるか悩んでいました



たが「行き方調べてから見たいところ決めるのは？」と話を進める人、まとめる人、尋ねる人を子ども達で考えていました。お互いが納得するまで時間をかけて話し合う中で、自分がしたいことを提案しながらも友だちのしたいことが実現できるようにしたい気持ちも出ていました。電車の図鑑があったことを思い出して調べる人、先生に聞く人、「こっち探してみる」「聞いてきたよ！誰か書いてくれる？」と自分の役割を見つけながら話し合っていました。行き先や往復の道のりが分かってくると「向こうでは〇〇したいな」と話し合う時には自然と輪になって話し合っていました。「〇〇くん電車よく知ってるもんね」「〇〇ちゃん絵描くの好きだからそれいいね」と友だちの言葉に耳を傾けたり、意見を伝え合う姿を見ると“みんな”を意識して声を掛けることに成長を感じる場面でもありました。



当日は実際に計画していたことを実現できることの喜びや新たに発見したことを共有しあうことを楽しんでいました。園に着くと「おかえり！」「イルカショーすごかったよ」「うさぎの絵描いたんだ」とお互いに聞いてほしい気持ちが溢れていました。園に戻ってからお互いに楽しかった場所を話したり、今は調べたことに向けてそれぞれ動き出しています。帰りの電車でもぼろっと呟いた「あ～楽しかったな」の言葉に計画したことから実現できたことまでの思いがたくさん詰まっているように感じました。



## “担任の想い”

いよいよ保育園で過ごす最後の1か月を迎えます。だいちの発表会や卒園式に向けて準備を進めながら「あんなに小さかったのにな」と時間の流れがあっという間に感じながら、もっともっと一緒に過ごしたい気持ちも自然と溢れてきます。今までのことを振り返る中で「一緒にいると落ち着くんだよね」と慣れ親しんだ先生、友だち、自分の居場所への安心を感じているようです。普段は照れてしまってなかなか言葉にして伝えられないことも、卒園式で言葉や歌から伝えられるのではと子どもたちと考えています。「友だちできるかな」「給食いっぱい食べたいな」「勉強ってどうするんだろう」小学校への想いは期待と同時に不安もあるかと思えます。保育園で過ごす中で自分で考えようとする力や、人に尋ねる勇氣、友だちの気持ちに寄り添う優しさなど、成長を感じる場面がたくさんありました。友達、家族、先生に見守られて過ごしてきた日々を自信に変えて、たくさんの思いが詰まった保育園での経験がそれぞれの新しい環境への一歩に繋がるよう願っています。だいち組15人で話し合う時に必ずでてきていた『きっとできる』の言葉を胸に送り出したいと思えます。

日笠 加菜

## 保護者の方からのお話コーナー

料理が大好きな息子。ままごとで作る料理もとってもリアルで、園で食べたメニューをよく再現しています。妹と2人で“ちぢみほうれん草”を切ったり、じゃこトーストを焼いたり…。様々な食材やメニューを知っていて驚くこともあります。

お昼から手の込んだ料理を食べさせてもらえてありがたいなあといつも感謝しています！家では手抜きでもいいかな…と（笑）

自分に甘い母です（笑）

いぶき組 ゆかさん

少し手足が不自由だったり、成長がゆっくりだったり親が心配する中…息子はかえで保育園でのびのびと生活できています。

出来ない事もあるけれどできるかぎりお友達と同じようにさせてもらえている事がとてもありがたいです。言葉でのコミュニケーションはなくてもお友だちとお医者さんごっこを楽しんでいる息子は遊びの天才です。（親バカ…です）

つぼみ組 ゆうこさん

かえでフェスティバルで何をするのか、ずっと教えてくれなかった息子。

当日の劇を見てビックリ！

とても大きな声でセリフを言い、役になりきってました。みんなにも演技をほめてもらい、とても嬉しそうでした。

その日から彼の中で「やあ！こんにちは！」の大ブームが起こり、挨拶代わりにそのセリフを役の動きに合わせて色んな人に喋っていました。笑

にこにこ笑顔で繰り返す息子を見て、私たちもとても笑顔になりました。

ひかり組 ともみさん

コロナの渦に巻き込まれただいち組での1年でしたが、息子のお友だち、先生、園への愛は高まるばかりのようで、秋頃に「あと〇ヶ月や…」と言っていた泣きごとはもう言わず、1日1日を慈しむように過ごしています（笑）

だいち組 ゆみこさん

4月に入園し、早いものでもうすぐ1年がたとうとしています。今まで保育園に行くことを嫌がったことはなく、楽しく過ごせているようです。

この1年で自分でできることがどんどん増えめまぐるしい成長をみせてくれています。言葉が遅く心配でしたが、少しずつ言葉も増えてきました。これから、お友だちや園での出来事をお話ししてくれるのを楽しみにしています。

ふたば組 みゆきさん

保育園へ行くと、振り返りもせずに先生の所へ走っていく娘。

保育園が大好きなようで、帰ってきてからも手遊びや体操を家族に披露してくれます。元気にたくましく育てている娘の姿には、先生方にとっても感謝しています。

めばえ組 あやねさん

保育園へ行くときは、バイバイするのが寂しいけれど、帰ってくると友達と遊んだり、どんなことをしたのか教えてくれます。

明日はどんなことをするのか？

ふたば組 やすひろさん

# ☆お台所より☆

だんだんと寒さも和らぎ、少しずつ春を感じる季節になりました。今年度も早いものであと1か月。1年が本当にあっという間に過ぎてしまいます。振り返ってみると、4月当初は新しい環境に戸惑っていた子どもたちも、毎日充実した生活を送り、心も体も大きく成長したように感じます。小さかった子どもたちが歩けるようになったり、苦手な食べ物も食べられるようになったり、おかわりをたくさんしてくれたり・・・

様々な成長を間近で見ることができ、たくさんの思い出がいっぱいあります。

子どもたちの貴重な1年に、ごはんを通して関わることができてとても嬉しく思います。

そして、だいちさんにとっては残りわずかな保育園生活。「かえで保育園のごはんおいしかったな」と思い出になるよう、心を込めて作ります。

## ～今月の食育活動の様子～

### ・節分

今年は124年ぶりに2月2日に節分がありました。そんな節分の日のメニューは巻き寿司をしました。具材は、卵・かんぴょう・にんじん・きゅうり・高野豆腐・干しいたけと、具たくさんの太巻きでしたが、みんな大きな口を開けて食べてくれていました。今年の恵方(南南東)を向いて食べている子もいたり、何が巻いてあるのか興味津々な様子の子もいたりしました。

また、おやつの前にだいちさんは炒り豆を食べました。炒った豆のおいをかいたり、何で豆を食べるのかお話を聞いたり、豆を食べる経験をさせてあげることができて良かったです。「自分の年齢+1粒」だけでは物足りず、みんなおかわりをいっぱいしていました。たくさんあった豆があっという間になくなりましたよ。



## ～3月の献立で使用する旬の食材～

新ごぼう 菜の花 スナップエンドウ 春キャベツ いちご

## ～お知らせ～

だいちさんにとってかえで保育園で食べるごはんもあともう少しとなりました。そこで、だいちさんにかえで保育園で美味しかったごはん・おやつを発表してもらいました。

「鶏肉の天ぷら」、「ハンバーグサンド」、「から揚げ」、「鮭の照り焼き」、「おでん」、「ポテトサラダ」、「マッシュマロクラッカー」、「フライドポテト」、「どらやき」などなど、これらのメニューは3月の献立に取り入れます。誰が何をリクエストしたのか随時お知らせします。お楽しみに！





## • 水ぼうそうが流行っています。

軽く発症している子どもが継続しています。

(発疹2~3個と少ないこともあります)

発疹が出ている場合は必ず受診してください。

(登所届が必要となります)

- 名前が記入されていなくて困っています。今後は感染症予防のため置きっぱなしの忘れ物は掲示した後、処分させていただきます。

## こんなことしたよ♪

2月8日は感染症対策を行いながら、全員参加で、ひかり・だいち組で雪あそびに出かけることができました。

六甲山スノーパークでそり滑りや雪あそびを楽しみ、大満足の日となりました。



2月16日は日本の分化を伝承する行事「もちつき」を行いました。

今年からもち米は園庭で薪を燃やし、もち米を蒸しました。窯の火付けをだいちさんと一緒にやり、窯の中では焼き芋も作りました。

熱々のもち米を少し頬張った後、もちつきを始め、みんなで「ぺったんぺったんぺったんこ〜♪」と「もちつき」の歌を歌いながら楽しみました。出来上がったお餅は丸めて、いぶき・ひかり・だいち組はオリジナルの鏡餅を作り、持ち帰りました。来年は保護者の方にも参加していただけるといいですね。



# ★お願い★

## • 体調管理をお願いします

園では引き続き、衛生管理に努め、丁寧に消毒等を行っていきます。

保護者の方が仕事をお休みの場合は家庭で過ごしてください。また休暇の場合に保育が必要な場合は必ず事前にお知らせください。

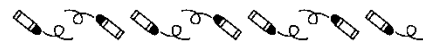
## • 3月末は2021年度のクラスですごします。

荷物の移動を27日(土)に職員で行います。保育者が子どもと一緒にロッカーの整理を行い、不要なものは持ち帰りいただきます。

## • ふたば組は3月8日(月)よりキッズノートでのやり取りを行います。

但し、このノートは交換ノートや育児日記ではありません。園からのコメントは簡単な文になります。

また、お子様の保育園生活に必要な情報のみ記入ください。通信状況を確認いたします。



## 3月の予定

- \* 3日(水) ひなまつり
- \* 6日(土) だいち発表会・懇談会
- \* 13日(土) 卒園式  
卒園児以外は家庭保育となります  
ご協力をお願いします
- \* 16日(火) 移動動物園
- \* 17日(水) 全園児お弁当日  
お別れ遠足(幼児クラス)
- \* 22日(月) ありがとうの会
- \* 26日(金) 誕生会
- \* 27日(土) 年度末会議(お弁当日)  
できるだけ家庭保育にご協力をお願いします
- \* 31日(水) 年度末準備  
可能なご家庭は家庭保育にご協力をお願いします
- \* 4・11・18・25日 体操
- \* 15・25(変更の可能性あり)日 絵画

## ~4月の予定~

- 1日(木) 入園式
- 2日(金) 進級式・慣らし保育開始
- 17日(土) 新めばえ・ふたばぐみ  
「かえでであそぼう会」

## • 親子参加の行事で乳児の顔合わせをします。

後日詳細をお知らせします

☆家庭保育にご協力をお願いします